

第66回企画展

むかしの稲作（本田管理）

～ 写真でみる昭和 30 年代の稲作 ～



平成27年10月6日(火)～平成27年12月25日(金)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

むかしの稲作 (本田管理)

～写真でみる昭和30年代の稲作～

第二次世界大戦後、わが国は、深刻な食料危機となりましたが、稲作は、農地改革によって自作農を目指した農家の生産意欲の高まりと、革新的な農業技術の普及啓蒙により、生産は安定し、食料危機を克服して時代の要請に応えることができました。

当時、農家の農作業は人力や畜力を使った技術体系でした。岩手県では昭和30年に、稲作作業の技術体系を、県下10ヶ所の地域の作業方法の記述と写真で記録しており、農業科学博物館では、その調査記録簿を収蔵しています。

調査記録簿で見られる慣行の農作業は、農家をとりまく自然的、社会的、経済的条件により、それぞれ異なっています。

今回の企画展は、シリーズ「むかしの稲作」(本田管理)をテーマに県中部の事例を、本田除草、畦畔草刈り、追肥、薬剤散布、害鳥獣防除、稗抜き等の管理作業を記録写真とともに解説し、併せて昭和28年頃の岩谷堂農業改良普及所が指導に用いた「手巻きの巻物」を紹介しながら当時の様子を学ぶ場とします。



岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直近の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台